

平成 23 年度
学生による授業評価アンケート
実施報告書

福山大学 大学教育センター
教育評価・改善部門

目 次

はじめに	1
1. アンケート調査の目的	2
2. アンケート調査の概要	2
3. 調 査 結 果	9
(1) アンケート調査実施状況について	9
(2) 調査結果の内容（学生による授業評価）	10
① 板書の仕方について	11
② 教員の話し方について	12
③ 授業の計画性について	13
④ 授業の開始時刻と終了時刻について	14
⑤ 講義内容を理解しやすくする教員の工夫について	15
⑥ 質問に対する教員の誠意について	16
⑦ 講義内容の難易度について	17
⑧ この科目の授業内容や実施方法への満足度について	18
(3) 調査結果の内容（学生の自己点検）	19
① 授業に対する予習、復習などの自己学習について	20
② 授業に対する集中度について	21
③ 授業への出席状況について	22
④ 授業の受講による知識の深まりについて	23
⑤ 受講時の工夫について	24
⑥ 質問への積極性について	25
⑦ 学修への意欲の高まりについて	26
⑧ 学修の成果について	27
(4) 調査結果のまとめ	28
4. アンケート結果に対する教員の報告書	29
5. 総 括 （おわりに）	30

はじめに

福山大学では「地域社会の中核となる職業人の育成」という教育目標の達成に向け、大学全体として、また、それぞれの学部・学科において様々な教育改革に取り組んでいるところである。大学全体としては「福山大学教育システム」を構築し、教育目標を設定して、初年次教育やキャリア教育の整備など全学共通教育の改革に取り組んでいる。また、学部・学科では、それぞれの中目標とカリキュラムとの関係を示すカリキュラム・マップを作成し、学修の道筋を示している。これらは学生が学びやすい教育環境を提供するという観点から重要な取組であるが、教育の基本は日々の講義、演習、実験である。日常の教育の場が学生にとって知的な魅力を感じる場であることは必要条件である。教育の場が不快を感じる場であっては成果を上げることは不可能であり、学生が学びたいことを学べる場でなければ学修意欲を駆り立てることはできない。学生が主体となる授業の展開を目指すために「学生による授業評価アンケート」が本学で初めて実施されたのは平成16年であった。以来、本学のすべての教員が少なくとも1年に1度、学生による授業評価を受け、授業改善に資する貴重な情報として活用し、教育改善に向けた研鑽を積んでいる。

「学生による授業評価アンケート」は平成22年度まで自己評価委員会が担当して実施してきたが、平成23年度から、大学教育センターが担当することになった。大学教育センター運営委員会では各学部1名の委員から構成される教育改善評価部門を設けて担当部門とし、「学生による授業評価アンケート」をより効果的に活用するために、今年度より学生による自己点検も加えて実施することにした。このアンケート結果が、教員と学生がそれぞれ目標とする教育成果と学修成果を上げる機会となることを願っている。

大学教育センター

センター長 松浦 史登

授業評価・改善部会

部門長 山本 寛

委 員 尾田 温俊

委 員 三宅正太郎

委 員 香川 直己

委 員 森田 哲生

1. アンケート調査の目的

分かり易く、学生が主体的に学ぶ授業の展開を目指して、学生が授業をどのように受講し、授業に期待していることを教員が理解し、各教員の授業改善に資するために本アンケートを実施する。また、全学的な教育改革の成果を検討する貴重な資料とする。さらに、学生が自己評価し、自信の学習姿勢を点検して改善に役立てるために本アンケート調査を実施する。

2. アンケート調査の概要

- (1) **対象科目の選定**：本学に勤務する教員（非常勤講師を含む）当たり 1 科目について、前期・後期のいずれかで調査することとし、所属学科で調査対象科目を選定した。前期調査対象科目を表Ⅰ(p.3～p.6)に、後期調査対象科目を表Ⅱ(p.7～p.8)に示した。
- (2) **アンケート内容**：アンケート調査の設問項目は、教員の授業評価に関する 8 項目、学生自身の学習点検に関する 8 項目、合計 16 項目について調査した（アンケート用紙を p.9 に記載）。各設問に対する回答は、設問項目を強く肯定する回答から強く否定する回答までの 5 つの選択肢より選択することとした。
- (3) **実施期間**：前期及び後期の第 11 回、12 回の授業時間を利用して実施した。
 - ・前期；平成 23 年 6 月 20 日（月）～7 月 2 日（土）の 2 週間
 - ・後期；平成 23 年 12 月 5 日（月）～12 月 17 日（土）の 2 週間
- (4) **実施方法**：大学教育センター運営委員会で討議する公正な方法で実施すること
(大学教育センターでは、可能な限り担当教員以外が調査を行うことを推奨)
- (5) **調査結果の集計方法**：調査結果の集計作業を専門業者（リョービシステムズ㈱）に委託した。
集計後、各回答に係数を乗してそれら総和を求め、有効回答数で除し、5 点満点で評価した。設問に強く肯定する回答の係数を 5、強く否定する回答に係数 1 を与えているため、平均値は 3.0 となる。
- (6) **調査結果の教員へのフィードバック**：全学、全学部、及び全学科毎の平均点を学部長および学科長に報告した。また、アンケート調査を実施した各科目に対する評価は、学部毎に学部長にフィードバックし、さらに各学科長へフィードバックした。学科長は各授業担当者に調査結果をフィードバックした。また、レーダーチャートで表現した調査結果、及び自由記述による回答を大学教育センターから教員個人にフィードバックした。
- (7) **調査結果の受講学生へのフィードバック**：授業の調査結果をそれぞれの講義の最終時（第 15 回）、または定期試験時を利用して担当教員から受講学生に直接フィードバックし、改善を求められている事項がある場合には対応等を報告することをお願いした。
- (8) **調査結果に対する報告書**：アンケート実施科目の担当教員には、大学教育センター長に報告書の提出を求めている。報告書には、①アンケート結果の学生へのフィードバック方法、②この講義に対する学生の評価結果について、高く評価された事項、改善を求められている事項、今後の授業改善の計画、③この講義を受講した学生の自己点検結果について、学習成果という点でこの結果をどのように考えるのか、学生の学習成果を望ましい方向に進展させる方策について記載することを求めている。報告書書式を p.10 に記載した。

表 I-1 平成23年度前期 授業評価アンケート 実施申請科目一覧

学 部	学 科	教員名	職 名	授業科目名	講義 番号	曜 日	時 限	受講 数	備 考
生命工学	大教センター	松浦 史登	教 授	化学Ⅱ	5262	金	2	33	
共通教育	大教センター	丹藤 浩二	教 授	歴史と人間(1)	9316	金	2	102	
共通教育	大教センター	西田 正	教 授	英語(Ⅰ)	2817	火	4	56	
共通教育	大教センター	田中 久男	教 授	英語(Ⅰ)	5817	金	4	45	
共通教育	大教センター	地主 弘幸	准教授	物理の世界	9119	水	3	35	
共通教育	大教センター	重迫 隆司	准教授	英語(Ⅰ)	4821	木	3	54	
共通教育	大教センター	Janice R. Brabec	講 師	英会話(Ⅰ)	3825	水	4	34	
共通教育	大教センター	Jeffrey J. Nazzaro	講 師	英会話(Ⅰ)	3801	水	1	27	
共通教育	大教センター	Laura A. Gibbons	講 師	英会話(Ⅰ)	4827	木	4	17	
共通教育	大教センター	篠田 昭夫	特任教授	英語(Ⅰ)	4808	木	2	58	
共通教育		和田 文雄	非常勤講師	人文地理(1)	9313	木	3	110	
共通教育		的場 千尋	非常勤講師	体育(1)	9523	水	3	25	
共通教育		大村 浩	非常勤講師	柔道(1)	9525	水	4	46	
共通教育		藤本 明成	非常勤講師	陶芸	8509	火	3	23	
共通教育		渡辺 誠	非常勤講師	日本史(1)	9303	月	3	109	
共通教育		菅波 眞吾	非常勤講師	剣道(1)	9537	金	2	22	
共通教育		碓 智樹	非常勤講師	倫理学	9405	火	4	79	
共通教育		劉 国彬	非常勤講師	中国語Ⅰ	3866	水	3	42	
共通教育		森 美智代	非常勤講師	日本語表現法	4701	木	3	35	
共通教育		神野 靖子	非常勤講師	音楽	9531	木	2	16	
共通教育		佐藤 りえこ	非常勤講師	日本語表現法	1703	月	3	33	
共通教育		柴原 直樹	非常勤講師	日本史(1)	9318	金	3	105	
共通教育		渋谷 清	非常勤講師	絵画	9513	火	4	8	
経 済	経 済	掛江 正造	教 授	マクロ経済学Ⅰ	1203	月	2	146	
経 済	経 済	小林 正和	准教授	ベンチャー企業概論Ⅰ	1111	月	1	76	
経 済	経 済	上迫 明	准教授	商法Ⅰ	3118	水	1	148	
経 済	経 済	久松 太郎	講 師	経済学史	2213	火	2	93	
経 済	経 済	岡谷 良二	講 師	ミクロ経済学Ⅰ	2305	火	3	104	提出遅れ
経 済	経 済	亀岡 章	非常勤講師	不動産・相続基礎Ⅰ	2419	火	4	94	
経 済	経 済	向井 昇	非常勤講師	生活設計・税基礎Ⅰ	1113	月	1	117	
経 済	経 済	佐々木 宏	非常勤講師	スポーツ社会学	3208	水	2	54	
経 済	経 済	佐藤健次	非常勤講師	リスク管理・金融基礎Ⅰ	3406	水	4	96	
経 済	経 済	田邊 一洋	非常勤講師	スポーツとメディアⅠ	4110	木	1	49	未提出
経 済	経 済	佐藤 剛	非常勤講師	情報ビジネス論	4222	木	2	51	
経 済	経 済	幸田 洋子	非常勤講師	FP実技基礎Ⅰ	4406	木	4	136	
経 済	経 済	入谷 純	非常勤講師	財政学Ⅰ	4514	木	5	78	
経 済	経 済	溝淵 裕	非常勤講師	憲法Ⅰ	5206	金	2	23	
経 済	経 済	勝矢 倫生	非常勤講師	日本経済史Ⅰ	5214	金	2	120	
経 済	国際経済	富士 彰夫	教 授	アメリカ経済論Ⅰ	4316	木	3	76	
経 済	国際経済	井上 矩之	教 授	地域開発論	4218	木	2	53	
経 済	国際経済	馬 成三	教 授	中国経済論Ⅰ	5217	金	2	39	
経 済	国際経済	尾田 温俊	教 授	EU経済論Ⅰ	3305	水	3	64	
経 済	国際経済	足立 浩一	准教授	マーケティング論Ⅰ	2332	火	3	35	
経 済	国際経済	鍋島 正次郎	准教授	備後地場産業論	3311	水	3	95	
経 済	国際経済	妹尾 正毅	客員教授	国際関係論Ⅰ	5108	金	1	35	
経 済	国際経済	大久保 勲	客員教授	中国文化史	9308	火	2	84	
経 済	国際経済	内海 香	非常勤講師	外国為替法	4216	木	2	68	
経 済	国際経済	植田 譲	非常勤講師	旅行業法	1303	月	3	21	
経 済	税務会計	泉 潤慈	教 授	税法概論Ⅰ	2320	火	3	15	
経 済	税務会計	伊藤 祐一	教 授	自然科学Ⅰ	3407	水	4	51	
経 済	税務会計	桑原 哲也	教 授	国際経営論Ⅰ	2416	火	4	22	
経 済	税務会計	鶴崎 健一	准教授	衛生学	3125	水	1	26	
経 済	税務会計	許 霽	准教授	財務諸表論	4220	木	2	25	
経 済	税務会計	日野 恵美子	講 師	経営分析Ⅰ	8221	火	2	21	
経 済	税務会計	古市 雄一朗	講 師	財務会計Ⅰ	4409	木	4	45	
経 済	税務会計	李 森	客員教員	中国経済特論Ⅰ	1115	月	1	37	

表 I-2 平成23年度前期 授業評価アンケート 実施申請科目一覧

学 部	学 科	教員名	職 名	授業科目名	講義 番号	曜 日	時 限	受講 数	備 考
経 済	税務会計	小林 陽治	非常勤講師	商業簿記 I	1101	月	1	61	
経 済	税務会計	古賀 智敏	非常勤講師	監査論 I	4329	木	3	11	
経 済	税務会計	池下 泰宏	非常勤講師	税務会計 I	2115	火	1	10	
経 済	税務会計	町田 余理子	非常勤講師	民法 I	4322	木	3	81	
人間文化	人間文化	川地 洋一	教 授	教育原理	9208	火	4	84	
人間文化	人間文化	田中 久男	教 授	英米の文学と思想 1	2429	木	4	9	
人間文化	人間文化	位藤 邦生	教 授	日本の王朝文学1	4421	木	4	22	
人間文化	人間文化	西田 正	教 授	英語コミュニケーション 1	4422	木	4	2	
人間文化	人間文化	久保 卓哉	教 授	中国文化入門	2340	火	3	35	
人間文化	人間文化	丹藤 浩二	教 授	環境と文明 1	5117	金	1	16	
人間文化	人間文化	青木 美保	教 授	日本文学史 1	3317	水	3	31	
人間文化	人間文化	原 千史	准教授	ヨーロッパの社会・思想・	1227	月	2	21	
人間文化	人間文化	重迫 隆司	准教授	現代芸術とサブカルチャー論	5311	金	3	26	
人間文化	人間文化	磯貝 淳一	准教授	日本語学概論 I	4237	木	2	31	
人間文化	人間文化	引野 亨輔	准教授	日本近世の政治と文化 1	3231	水	2	23	
人間文化	人間文化	引野 亨輔	准教授	日本の歴史と文化 1	4239	木	2	26	
人間文化	人間文化	金元 文学	非常勤講師	中国語表現法 1	3416	水	4	8	
人間文化	心 理	青野 篤子	教 授	社会心理学	2225	火	2	47	
人間文化	心 理	橋本 優花里	准教授	認知心理学	1921	月	2	56	
人間文化	心 理	三宅 幹子	准教授	生涯発達心理学	4124	木	1	31	
人間文化	心 理	山崎 理央	准教授	臨床心理学	4233	木	2	42	
人間文化	メディア	三宅 正太郎	教 授	メディアと調査	4250	木	2	28	
人間文化	メディア	田中 始男	教 授	基礎情報処理II	4131	木	1	16	
人間文化	メディア	飯田 豊	講 師	情報社会とコミュニケーション	5410	金	4	52	
人間文化	メディア	杉本 達應	講 師	プリントメディア論	4348	木	3	32	
人間文化	メディア	渡辺 浩司	講 師	マルチメディア論	2126	火	1	41	
人間文化	メディア	内垣戸 貴之	講 師	プレゼンテーション	3140	水	1	16	
人間文化	メディア	藤森 益弘	客員教授	CM制作論	2235	火	2・3	30	
人間文化	メディア	松田	非常勤講師	サウンドデザイン	3325	水	3	25	未提出
人間文化	メディア	熊谷	非常勤講師	ゲーム制作	5319	金B	3・4	18	
人間文化	メディア	大塚	非常勤講師	プリントメディア制作基礎	5237	金	2	34	
人間文化	メディア	森脇 澄司	非常勤講師	アナウンス	5316	金	3	12	
工学	電子・ロボット工	栗延 俊太郎	教 授	ディジタルシステム I	5425	金	4	15	
工学	電子・ロボット工	安藤 詔生	教 授	数学 I	8220	火	1	40	
工学	電子・ロボット工	沖 俊任	准教授	ものづくり加工法	4256	木	2	14	未提出
工学	電子・ロボット工	田中 聡	准教授	エンベデッドシステム	2133	火	1	10	
工学	電子・ロボット工	伍賀 正典	講 師	ロボット制御	3149	水	1	11	
工学	電子・ロボット工	玉木 清	非常勤講師	CAD I	2249	火	2	20	
工学	建築・建設	宮地 功	教 授	建築積算	3254	水	2	21	
工学	建築・建設	松本 静夫	教 授	西洋建築史	1135	月	1	55	
工学	建築・建設	中山 昭夫	教 授	建築材料	4269	木	2	32	
工学	建築・建設	大島 秀明	教 授	建築計画 II	3250	水	2	30	
工学	建築・建設	富田 武満	教 授	防災工学	1243	月	2	13	未提出
工学	建築・建設	梅田 眞三郎	教 授	水理学 I	1133	月	1	11	
工学	建築・建設	西原 晃	教 授	基礎数学 I、工業数学	5127	金	1	20	
工学	建築・建設	田辺 和康	教 授	建設材料	3331	水	3	8	
工学	建築・建設	小野 泰	准教授	計画系技術 II	4276	木	2	15	提出遅れ
工学	建築・建設	寺井 雅和	准教授	建築構造デザイン I	7355	月	4, 5	9	
工学	建築・建設	水上 優	准教授	設計製図演習 I	7351	月	3, 4	33	
工学	建築・建設	藤原 美樹	助 教	デザイン論	3248	水	2	16	
工学	建築・建設	酒井 要	助 教	建築計画I	3249	水	2	37	
工学	建築・建設	中村 雅樹	助 教	橋梁工学	2363	火	3	10	
工学	建築・建設	南 宏一	客員教授	建築構造設計 II	5251	金	2	26	
工学	建築・建設	古江 嘉弘	客員教授	建築環境工学 1	4363	木	3	35	
工学	建築・建設	鎌田 輝男	客員教授	建築防災工学	3337	水	3	10	
工学	建築・建設	尾島 勝	客員教授	水理学 II	1336	月	3	9	未提出

表 I-3 平成23年度前期 授業評価アンケート 実施申請科目一覧

学 部	学 科	教員名	職 名	授業科目名	講義 番号	曜 日	時 限	受講 数	備 考
工学	建築・建設	上野谷 実	客員教授	入門数学II	3510	水	5	16	
工学	建築・建設	高橋 正樹	非常勤講師	建築法規	3443	水	4	40	
工学	建築・建設	森山 富久志	非常勤講師	居住設備	5515	金	5	40	
工学	情報工	千葉 利晃	教 授	数値解析	5255	金	2	24	
工学	情報工	千葉 利晃	教 授	構造力学Ⅱ	3246	水	2	9	
工学	情報工	清水 光	教 授	情報工学入門	2443	火	4	52	
工学	情報工	清水 光	教 授	専門英語	4375	木	3	25	
工学	情報工	占部 逸正	教 授	基礎数学Ⅰ	3338	水	3	28	
工学	情報工	服部 進	教 授	ソフトウェア工学	5335	金	3	73	
工学	情報工	尾関 孝史	教 授	プログラミング応用	3258	水	2	39	
工学	情報工	新谷 敏朗	准教授	データ構造とアルゴリズム	5130	金	1	43	
工学	情報工	宮崎 光二	講 師	UNIX入門	4448	木	4	42	
工学	情報工	片桐 重和	助 教	実用情報処理演習Ⅰ	1753	月	2	38	
工学	機械システム工	坂口 勝次	教 授	熱力学	1347	月	3	74	
工学	機械システム工	轟崎 展	教 授	感性デザイン	5344	金	3	19	
工学	機械システム工	真鍋 圭司	教 授	材料力学Ⅰ	5131	金	1	66	
工学	機械システム工	野西 利次	教 授	要素設計学	3345	水	3	50	
工学	機械システム工	布施 守雄	教 授	環境自動車工学	1429	月	4	46	
工学	機械システム工	木村 純壮	准教授	制御システム設計	5261	金	2	23	
工学	機械システム工	中東 潤	講 師	デジタルデザインⅠ	5257	金	2	46	
工学	機械システム工	小林 正明	講 師	自動車整備工学	3156	水	1	19	
工学	機械システム工	矢田 順三	非常勤講師	伝熱工学	5342	金	3	30	
生命工学	生物工	原口 博行	教 授	植物栄養生理学	1268	月	2	40	
生命工学	生物工	藤田 泰太郎	教 授	微生物育種学	3266	水	2	38	
生命工学	生物工	秦野 琢之	教 授	微生物培養工学	3270	水	2	29	
生命工学	生物工	太田 雅也	教 授	構造生化学（前期）	3164	水	1	45	
生命工学	生物工	山本 覚	教 授	代謝生化学Ⅰ	2149	火	1	31	
生命工学	生物工	佐藤 淳	講 師	環境バイオ製品	5267	金	2	31	
生命工学	生命栄養科	岩本 博行	教 授	生化学Ⅰ	3171	水	1	41	
生命工学	生命栄養科	渡邊 誠	教 授	解剖生理学Ⅱ	3277	水	2	37	
生命工学	生命栄養科	渕上 倫子	教 授	調理学	3275	水	2	39	
生命工学	生命栄養科	井ノ内 直良	教 授	食品科学	5273	金	2	39	
生命工学	生命栄養科	平松 智子	准教授	臨床栄養学Ⅱ	1156	月	1	27	
生命工学	生命栄養科	石崎 由美子	准教授	栄養マネジメント	2280	火	2	27	
生命工学	海洋生物科	伏見 浩	教 授	増養殖学	2170	火	1	75	
生命工学	海洋生物科	南 卓志	教 授	水産学概論	2289	火	2	92	
生命工学	海洋生物科	河原 栄二郎	教 授	魚類解剖学	5282	金	2	112	
生命工学	海洋生物科	阪本 憲司	講 師	魚学概論	3182	水	1	87	
生命工学	海洋生物科	渡辺 伸一	講 師	生物統計学	8414	木	2	65	
生命工学	海洋生物科	谷口 順彦	客員教授	魚類育種とバイオテクノロジー	2374	火	3	81	
生命工学	海洋生物科	沖増 英治	併任教授	魚類生理学	5153	金	1	112	
薬 学	薬 学	吉富 博則	教 授	薬物動態の解析Ⅱ	34201	木	1	133	
薬 学	薬 学	廣瀬 順造	教 授	生体分子の立体構造	5170	金	1	86	
薬 学	薬 学	廣瀬 順造	教 授	実感する化学	9123	木	1	74	
薬 学	薬 学	杉原 成美	教 授	薬学の基礎としての生物A	8426	木	2	106	
薬 学	薬 学	杉原 成美	教 授	疾病の予防	6201	土	2	135	
薬 学	薬 学	小野 行雄	教 授	物質の変化	8329	水	2	103	
薬 学	薬 学	石津 隆	教 授	官能基と構造解析	8304	水	1	93	
薬 学	薬 学	松井 隆司	教 授	バイオ医薬品とゲノム情報	8435	木	2	135	
薬 学	薬 学	大橋 一慶	教 授	化学の基礎A	9114	水	1	101	未提出
薬 学	薬 学	福長 将仁	教 授	薬学英语Ⅰ	4393	木	3	86	
薬 学	薬 学	井上 敦子	教 授	生理活性分子とシグナル分	8105B	月	2	100	
薬 学	薬 学	村上 信行	教 授	社会保障制度と薬剤経済	8331	水	2	133	
薬 学	薬 学	富田 久夫	教 授	製剤材料の性質	4397	木	3	109	
薬 学	薬 学	田中 哲郎	教 授	フローメイド薬物治療	8509C	金	2	134	
薬 学	薬 学	五郎丸 毅	教 授	物質の構造Ⅱ	1184	月	1	86	

表 I -4 平成23年度前期 授業評価アンケート 実施申請科目一覧

学 部	学 科	教員名	職 名	授業科目名	講義 番号	曜 日	時 限	受講 数	備 考
薬 学	薬 学	五郎丸 毅	教 授	物質の構造Ⅱ	1185	月	1	6	
薬 学	薬 学	塩見 浩人	教 授	薬の作用と生体内運命	4189	木	1	92	
薬 学	薬 学	岡村 信幸	教 授	薬になる動植物	8501	金	2	93	
薬 学	薬 学	森田 哲生	教 授	生命活動を担うタンパク質	2182	火	1	93	
薬 学	薬 学	宇野 勝次	教 授	骨・関節、アレルギー・免疫疾患と薬物治療	8814	火	2	135	
薬 学	薬 学	井上 裕文	准教授	化学物質の検出と定量	8429	木	2	93	
薬 学	薬 学	小嶋 英二郎	准教授	臨床検査	5176	金	1	134	
薬 学	薬 学	田淵 紀彦	講 師	生体防御Ⅰ	8433	木	2	104	
薬 学	薬 学	五郎丸 剛	講 師	患者情報Ⅱ	2188B	火	1	135	
薬 学	薬 学	土谷 大樹	助 教	生体機能調節	8325C	水	2	97	
薬 学	薬 学	数野 博	非常勤講師	ファーマシューティカルケア総合演習プログラム14D	7920	水	3・4	12	提出遅れ
薬 学	薬 学	数野 博	非常勤講師	ファーマシューティカルケア総合演習プログラム15B	7920	水	3・4	20	提出遅れ

表Ⅱ-1 平成23年度後期授業評価アンケート 実施申請科目一覧 (1/2)

学 部	学 科	教員名	職 名	授業科目名	講義 番号	曜 日	時 限	受講 数	備 考
共通教育		石井 成人	非常勤講師	フランス語Ⅱ	2858	火	3	59	
共通教育		野見山 由美	非常勤講師	日本語4	2902	火	2	12	
共通教育		桜木 ともみ	非常勤講師	上級日本語(23-4)	2952	火	2	12	
共通教育		金元 文学	非常勤講師	中国語Ⅱ	3864	水	3	31	
共通教育		胡子 和子	非常勤講師	ビジネス日本語Ⅱ	4962	木	4	7	
共通教育		吉崎 暢洋	非常勤講師	憲法(2)	9213	金	1	292	
共通教育		田中 健	非常勤講師	哲学2	9408	水	3	78	
共通教育		金川 洋臣	非常勤講師	書道	9508	火	3	25	
共通教育		橋本 裕之	非常勤講師	日本民俗論	9322	集中講義		42	
共通教育	資格科目	天野 かおり	非常勤講師	生涯学習概論	9985	集中講義		43	
経済	経済	平田 宏二	教 授	地方財政論Ⅱ	3218	水	2	87	
経済	経済	筒本 和弘	教 授	WebデザインⅡ	3304	水	3	62	
経済	経済	坂本 和丈	教 授	コーチ学Ⅱ	4209	火	4	77	
経済	経済	三川 敦	准教授	経済数学Ⅱ	1311	月	3	52	
経済	経済	中村 博	准教授	国際政治学	1314	月	3	61	
経済	経済	吉田 卓史	准教授	スポーツ理論Ⅱ	4404	木	4	21	
経済	経済	塚原 一郎	准教授	金融論Ⅱ	5211	金	2	97	
経済	経済	石丸 敬二	講 師	情報処理Ⅱ	4107	木	1	40	
経済	経済	岡谷 良二	講 師	ミクロ経済学Ⅰ	2305	火	3	104	前期実施
経済	経済	吉原 龍介	客員教授	スポーツ経済学	4326	木	3	33	
経済	経済	岩見 孝之	非常勤	リスク管理・金融応用Ⅱ	2115	火	2	35	
経済	経済	磯崎 紀夫	非常勤	不動産・相続応用Ⅱ	2330	火	3	31	
経済	経済	若林 暁	非常勤	スポーツ救急技法	4223	木	2	31	
経済	国際経済	尾田 温俊	教 授	国際経済学Ⅱ	3221	水	2	72	
経済	税務会計	堀内 和葉	非常勤講師	財務諸表論答案演習Ⅱ	3220	水	2	6	
人間文化	人間文化	岡 晃弘	教 授	ドイツ文化入門	3135	水	1	54	
人間文化	人間文化	金元 文学	非常勤	文化人類学	3415	水	4	42	
人間文化	人間文化	佐藤 昭嗣	非常勤	日本古代の社会と文化2	4129	木	1	12	
人間文化	人間文化	横山 昭正	非常勤	フランスの文学と思想2	5313	金	3	6	
人間文化	人間文化	市瀬 信子	非常勤	中国近世文化論2	5416	金	4	5	
人間文化	人間文化	碓 智樹	非常勤	ヨーロッパと日本の思想2	2347	火	3	28	
人間文化	人間文化	友田 卓爾	非常勤	ヨーロッパの歴史と文化2	2349	火	3	75	
人間文化	心 理	堤 俊彦	教 授	障害者(児)心理学	3226	水	2	43	
人間文化	心 理	平 伸二	教 授	犯罪心理学	4123	木	1	51	
人間文化	心 理	松田 文子	教 授	授業心理学	4126	木	1	29	
人間文化	心 理	日下部 典子	准教授	カウンセリング論	3316	水	3	28	
人間文化	心 理	樋町 美華	講 師	教育臨床心理学	1126	月	1	48	
人間文化	メディア情報文化	田中 始男	教 授	基礎情報処理II	4131	木	1	16	
人間文化	メディア情報文化	渡辺 浩司	講 師	マルチメディア論	2126	火	1	41	
人間文化	メディア情報文化	内垣戸 貴之	講 師	プレゼンテーション	3140	水	1	16	
人間文化	メディア情報文化	水越 敏行	非常勤講師	マルチメディア教育論	9928	集中講義		17	
工	電子・ロボット工	香川 直己	教 授	回路理論Ⅰ	2131	火	1	24	
工	電子・ロボット工	香川 直己	教 授	電気回路Ⅰ	2132	火	1	1	
工	電子・ロボット工	三谷 康夫	教 授	制御工学Ⅲ	5125	金	1	7	
工	電子・ロボット工	三谷 康夫	教 授	デジタル制御工学	5126	金	1	6	
工	電子・ロボット工	三宅 雅保	教 授	半導体工学	5244	金	2	12	
工	電子・ロボット工	溝上 浩司	客員教授	組込みプログラミング	7210	水	2	8	
工	電子・ロボット工	長井 弘志	非常勤	機械運動学	5326	金	3	19	
工	建築・建設	富田 武満	教 授	防災工学	1243	月	2	13	
工	建築・建設	宮内 克之	教 授	コンクリート工学Ⅱ	5247	金	2	11	
工	建築・建設	大島 秀明	教 授	建築計画Ⅱ	3250	水	2	35	
工	建築・建設	小野 泰	准教授	計画系技術Ⅱ	4276	木	2	15	
工	建築・建設	中村 雅樹	助 教	橋梁工学	2363	火	3	11	
工	建築・建設	桜田 知文	非常勤	造型演習Ⅰ	7385	水	1.2	11	
工	情報工	樽谷 昭彦	非常勤講師	コンピュータグラフィックス	2261	水	2	34	
工	情報工	中島 健明	非常勤講師	WEBデザイン	9943	集中講義		14	

表Ⅱ-2 平成23年度後期授業評価アンケート 実施申請科目一覧 (2/2)

学 部	学 科	教員名	職 名	授業科目名	講義 番号	曜 日	時 限	受講 数	備 考
生命工	生物工	松崎 浩明	教 授	遺伝子工学	3166	水	1	37	
生命工	生物工	山口 泰典	教 授	動物機能利用学	5145	金	1	31	
生命工	生物工	久富 泰資	教 授	基礎微生物学	5263	金	2	34	
生命工	生物工	広岡 和丈	准教授	代謝制御学	4160	木	1	12	
生命工	生物工	壺井 基夫	併任教授	細胞生物学	1146	月	1	34	
生命工	生物工	今井 俊治	客員教授	植物栽培技術	7620	土	1・2	23	
生命工	生物工	池田 達哉	客員教授	植物分子育種学	7623	土	1・2	32	
生命工	生命栄養科	菊田 安至	教 授	生化学Ⅱ	2158	火	1	44	
生命工	生命栄養科	倉掛 昌裕	教 授	微生物学	2277	火	2	41	
生命工	生命栄養科	山本 英二	教 授	食品物性学	2279	火	2	33	
生命工	生命栄養科	里内 清	教 授	食品分析化学	5148	金	1	42	
生命工	生命栄養科	村上 泰子	講 師	臨床栄養学Ⅰ	1155	月	1	37	
生命工	生命栄養科	石崎 由美子	准教授	栄養教育論Ⅰ	4298	木	2	35	
生命工	生命栄養科	木村 安美	准教授	公衆栄養学	5276	金	2	35	
生命工	生命栄養科	石井 香代子	准教授	フードシステムマネジメントⅡ-A	41661	木	1	37	
生命工	生命栄養科	村上 泰子	講 師	臨床栄養学Ⅰ	1155	月	1	37	
生命工	生命栄養科	三宅 由紀子	非常勤講師	フードシステムマネジメントⅡ-B	41662	土	集	37	
生命工	海洋生物科	高村 克美	教 授	海洋動物分類学	1285	月	2	88	
生命工	海洋生物科	山岸 幸正	講 師	海洋植物分類学	2287	火	2	75	
生命工	海洋生物科	満谷 淳	教 授	海洋生態学	3183	水	1	96	
生命工	海洋生物科	北口 順彦	准教授	海洋環境科学	3184	水	1	81	
生命工	海洋生物科	水上 雅晴	助 教	生理学	4172	木	1	73	
生命工	海洋生物科	三輪 泰彦	教 授	基礎分子生物学	8415	木	2	85	
生命工	海洋生物科	西田 清徳	客員教授	水族館学	9960	集中		40	
薬	薬	町支 臣成	教 授	有機化合物の骨格と性質	1182	月	1	104	
薬	薬	宇野 勝次	教 授	生体防御Ⅱ	2187	火	1	105	
薬	薬	金尾 義治	教 授	薬物動態の解析Ⅰ	4192	木	1	106	
薬	薬	石津 隆	教 授	医薬品開発	6104	土	1	134	
薬	薬	岡村 信幸	教 授	漢方薬物Ⅱ	8103	月	2	104	
薬	薬	田中 哲郎	教 授	薬学英语Ⅱ	8306	水	1	88	
薬	薬	赤崎 健司	教 授	生命体の基本単位としての細胞	8427	木	2	100	
薬	薬	鶴田 泰人	教 授	生体中の金属・分子を解析する方法	8431	木	2	89	
薬	薬	片山 博和	教 授	剤形をつくる	8813	火	2	106	
薬	薬	佐藤 英治	教 授	調剤	51751	金	1	107	
薬	薬	江藤 精二	教 授	調剤	51752	金	1	110	
薬	薬	西尾 廣昭	教 授	血液・造血器系疾患と薬物治療	61031	土	I / I	109	
薬	薬	本屋敷 敏雄	准教授	生体エネルギー	8107	月	2	92	
薬	薬	秦 季之	准教授	物質の状態Ⅰ	8301	水	1	98	
薬	薬	道原 明宏	准教授	化学物質生体への影響	4398	木	3	108	
薬	薬	椎木 滋雄	非常勤講師	血液・造血器系疾患と薬物治療	61032	土	I / I	109	
薬	薬	池田 石雄	非常勤講師	医療コミュニケーション	8505-1	金	2	50	
薬	薬	数野 博	非常勤講師	ファーマシューティカルア総合演習14D	7920	水	3	12	前期実施
薬	薬	数野 博	非常勤講師	ファーマシューティカルア総合演習15B	7920	水	3	20	前期実施

学生による授業評価と自己点検アンケート

講義番号
88888888

この科目の授業に関する次の質問の回答として最も適切な選択肢の ☐ にしを
はつぎりと記入してください。

【質問1】 教員の板書の仕方は適切ですか？（板書をほとんどしなかった授業では、パワー
ポイントやテキストなど板書に代わるものは適切ですか？）

☐ 適切である ☐ ほぼ適切である ☐ どちらとも言えない
☐ やや不適切である ☐ 不適切である

【質問2】 教員の話し方は明瞭ですか？（聞き取りやすいですか？）

☐ 聞き取りやすい ☐ ほぼ聞き取りやすい ☐ どちらとも言えない
☐ やや聞き取りにくい ☐ 大変聞き取りにくい

【質問3】 授業はシラバス通りに行われていますか？

☐ 行われている ☐ ほぼ行われている ☐ どちらとも言えない
☐ やや異なっている ☐ 全く異なっている ☐ シラバスを読んでいる

【質問4】 教員は、授業の始まる時刻と終る時刻を守っていますか？

☐ 守っている ☐ ほぼ守っている ☐ どちらとも言えない
☐ やや守っていない ☐ 守っていない

【質問5】 教員は、講義内容を理解しやすくする工夫をしていると思いますか？

☐ 思う ☐ やや思う ☐ どちらとも言えない ☐ あまり思わない ☐ 全く思わない

【質問6】 教員は、学生の質問に誠意をもって答えていますか？

☐ 誠意をもって答える ☐ ほぼ誠意をもって答える ☐ どちらとも言えない
☐ やや誠意が感じられない ☐ 誠意が感じられない

【質問7】 この科目の難易度はやりがいや手応えを感じるものですか？

☐ 大いに感じる ☐ やや感じる ☐ どちらとも言えない
☐ あまり感じない ☐ 全く感じない

【質問8】 この科目の授業内容や実施方法に対する総合的なあなたの満足度を5段階で示してください。

☐ 満足 ☐ ほぼ満足 ☐ どちらとも言えない ☐ やや不満である ☐ 不満

【質問9】 この授業に対して、予習、復習などの自己学習を行っていますか？

☐ 必ず行う ☐ ほぼ行う ☐ ときどき行う
☐ あまり行わない ☐ 全く行わない

【質問10】 授業中に私語、居眠り、別のことを考えること等がありますか？

☐ 全くない ☐ ほとんどない ☐ どちらとも言えない
☐ しばしばある ☐ 毎回ある

【質問11】 授業には特別な事情を除き、出席していますか？

☐ 全出席 ☐ ほぼ出席 ☐ ときどき欠席する
☐ 欠席が多い ☐ 欠席が大変多い

【質問12】 この科目を受講して、あなたの知識は深まっていますか？

☐ 大いに深まっている ☐ やや深まっている ☐ どちらとも言えない
☐ あまり深まっていない ☐ 全く深まっていない

【質問13】 あなたは、ノートの取り方、講話の聴き方など、講義内容を理解しやすくする工夫
や配慮を自発的に行っていますか？

☐ 積極的に行っている ☐ かなり行っている ☐ 行おうとしている
☐ あまり意識していない ☐ 全く意識していない

【質問14】 授業内容について、質問したいと思うことはありますか？また、実際に質問しますか？

☐ しばしば質問する ☐ ときどき質問する ☐ 質問はあるが
ほとんど質問していない
☐ 質問したいことがあまりない ☐ 質問すべきことがみつからない

【質問15】 この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？

☐ 大いに思う ☐ やや思う ☐ どちらとも言えない
☐ あまり思わない ☐ 全く思わない

【質問16】 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。

☐ 十分に成果があがっている ☐ 少し成果があがっている ☐ どちらとも言えない
☐ あまり成果があがっていない ☐ 全く成果があがっていない

この授業について、特に意見があれば表面の自由記述欄に記入してください。

平成23年・前期 授業評価・自己点検アンケート結果に対する報告書

担当教員	氏 名	所 属	受講者数
		学部 学科	
講 義 名		科目分類(○で囲む)	名
		共通教育科目 専門基礎科目 専門科目	

◆アンケート結果の学生へのフィードバック方法

◆この講義に対する学生の評価結果について（アンケートの質問1～質問8が該当します）

○高く評価された事項

○改善を求められている事項

○今後の授業改善の計画

◆この講義を受講した学生の自己点検結果について（アンケートの質問9～質問16が該当します）

○学習成果という点でこの結果をどのように考えますか

○学生の学習成果を望ましい方向に進展させる方策はありますか

3. 調 査 結 果

(1) アンケート調査実施状況について

前期のアンケート実施科目数は180科目について実施した。その内4件は提出が遅れたため、集計処理を後期に行った。また、提出されなかった科目が5科目あった。前期調査対象科目を表Ⅰ-1～表Ⅰ-4に示す。後期のアンケート実施科目数は95科目について実施し、前期実施分を含めて99科目について集計処理を行った。後期調査対象科目を表Ⅱ-1～表Ⅱ-2に示した。前期と後期を合わせたアンケート調査対象科目数は276科目であった。本調査では、前期の調査対象者数は延べ9,402名、回答者数は7,421名となり、回答率は78.9%であった(表Ⅲ-1)。後期の調査対象者数は延べ5,105名、回答者数は3,872名となり、回答率は75.8%であった(表Ⅲ-2)。通年では調査対象者数は延べ14,507名、回答者数11,293名となり、回答率は77.8%であった(表Ⅲ-3)。

学部別の通年の回答率は、生命工学部・薬学部・大学教育センターでは83%以上の高い回収率であったが、経済学部では前期、後期ともに60%台(通年で67.5%)とやや低い回答率であった。これは後述する学生の自己点検(11)授業への出席状況の結果を見ると、生命工学部・薬学部・大学教育センターでは出席状況が高いのに対して、経済学部学生の授業への出席状況が最も低かった。本アンケート調査は通常授業の中で実施しているため、出席状況が反映していると考えられた。

表Ⅲ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生による授業評価)

学 部	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
受 講 者 数	9,402	2,360	811	1,342	1,048	2,735	461	645	0
回 答 者 数	7,421	1,625	613	1,025	929	2,308	400	521	0
回 答 率	78.9%	68.9%	75.6%	76.4%	88.6%	84.4%	86.8%	80.8%	0

表Ⅲ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生の自己点検)

学 部	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
受 講 者 数	5,105	809	520	221	1,082	1,841	0	516	116
回 答 者 数	3,872	514	386	174	862	1,491	0	351	94
回 答 率	75.8%	63.5%	74.2%	78.7%	79.7%	81.0%	0.0%	68.0%	81.0%

表Ⅲ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生による授業評価)

学 部	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
受 講 者 数	14507	3169	1331	1563	2130	4576	461	1161	116
回 答 者 数	11293	2139	999	1199	1791	3799	400	872	94
回 答 率	77.8%	67.5%	75.1%	76.7%	84.1%	83.0%	86.8%	75.1%	81.0%

(2) 調査結果の内容（学生による授業評価）

① 板書の仕方について

教員の板書の仕方については、全学の通年の平均点が 4.10 であり、学生から比較的高く評価されていると判断された。全学平均を基準に評価すると、文系学部、経済学部と人間文化学部ではそれぞれ 4.20 及び 4.19 と全学平均より高く評価されているのに対して、生命工学部、薬学部、共通教育でやや低い結果となった（表Ⅳ-3）。自由記述による回答の中には、配布プリントの内容やパワーポイントのスライド切り替えのタイミングに関する要望が多く出されており、パワーポイントなどを活用する授業が多い学部では、学生の要望に配慮する必要がある。

また、大学教育センターの授業では 3.88 という全学平均と較べて低い結果となっている。これは、改善努力を要すると判断される。自由記述による回答の中で学部、学科を問わず出されている要望として、教員の板書する文字が小さい、汚くて読めないので改善を求める意見が多い。丁寧な板書を心がける必要のある教員の自覚と改善を求めたい。

表Ⅳ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問1】板書法 教員の板書の仕方は適切ですか？	適切である	5	3075	733	302	442	368	859	146	225	—
	ほぼ適切である	4	2570	548	190	365	305	868	128	166	—
	どちらともいえない	3	1123	225	84	133	149	359	77	96	—
	やや不適切である	2	418	76	25	52	59	155	31	20	—
	不適切である	1	227	42	12	31	46	66	18	12	—
	平均点		4.06	4.14	4.22	4.11	3.96	4.00	3.88	4.10	—

表Ⅳ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問1】板書法 教員の板書の仕方は適切ですか？	適切である	5	1700	292	170	84	366	640	—	113	35
	ほぼ適切である	4	1410	150	137	68	316	572	—	131	36
	どちらともいえない	3	530	46	56	14	114	210	—	73	17
	やや不適切である	2	169	16	15	6	55	48	—	27	2
	不適切である	1	59	8	8	2	11	20	—	6	4
	平均点		4.17	4.37	4.16	4.30	4.13	4.18	—	3.91	4.02

表Ⅳ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問1】板書法 教員の板書の仕方は適切ですか？	適切である	5	4775	1025	472	526	734	1499	146	338	35
	ほぼ適切である	4	3980	698	327	433	621	1440	128	297	36
	どちらともいえない	3	1653	271	140	147	263	569	77	169	17
	やや不適切である	2	587	92	40	58	114	203	31	47	2
	不適切である	1	286	50	20	33	57	86	18	18	4
	平均点		4.10	4.20	4.19	4.14	4.04	4.07	3.88	4.02	4.02

② 教員の話し方について

授業における教員の話し方については、全学の通年の平均点が 4.14 であり、学生から比較的高く評価されていると判断された（表 V-3）。全学平均を基準に評価すると、文系学部の経済学部と人間文化学部ではそれぞれ 4.21 及び 4.32 と全学平均よりやや高く評価されているのに対して、工学部、生命工学部、薬学部、共通教育でやや低い結果となった（表 IV-3）。ところが、前期と後期を同じ学部で比較すると工学部では前期が 4.01 であるのに対して広域では 4.34 という高い評価であった。この傾向は各学部でも認められ、話し方については教員の個人差が比較的大きいためではないかと推察している。前期は調査科目数が多いため、平均値の意味合いが強いが後期は調査科目数が約 3 分の 1 であるためである理解される。

話し方は、教員の個性でもあるが、滑舌の問題だけでなく、声のボリュームに対する要望もあった。声が小さくて聞こえない教員にはマイクの使用を求めたい。また、マイクの音量についても配慮が必要である。

表 V-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 2】話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	3345	774	364	414	421	983	148	241	—
	ほぼ聞き取りやすい	4	2449	534	164	356	262	826	129	178	—
	どちらともいえない	3	849	163	49	146	108	258	72	53	—
	やや聞き取りにくい	2	551	114	21	67	102	170	36	41	—
	大変聞き取りにくい	1	224	39	14	42	35	71	15	8	—
	平均点		4.10	4.16	4.38	4.01	4.00	4.07	3.90	4.16	—

表 V-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 2】話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	1862	282	182	93	407	704	—	146	48
	ほぼ聞き取りやすい	4	1346	166	136	55	309	526	—	132	22
	どちらともいえない	3	391	43	43	20	92	133	—	50	10
	やや聞き取りにくい	2	214	17	19	5	46	95	—	21	11
	大変聞き取りにくい	1	58	6	5	1	8	33	—	2	3
	平均点		4.22	4.36	4.22	4.34	4.23	4.19	—	4.14	4.07

表 V-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 2】話し方 教員の話し方は明瞭ですか？	聞き取りやすい	5	5207	1056	546	507	828	1687	148	387	48
	ほぼ聞き取りやすい	4	3795	700	300	411	571	1352	129	310	22
	どちらともいえない	3	1240	206	92	166	200	391	72	103	10
	やや聞き取りにくい	2	765	131	40	72	148	265	36	62	11
	大変聞き取りにくい	1	282	45	19	43	43	104	15	10	3
	平均点		4.14	4.21	4.32	4.06	4.11	4.12	3.90	4.15	4.07

③ 授業の計画性について

授業が計画的に行われていることを、授業はシラバス通りに行われているか？という設問で調査した。シラバスを読んでいないという回答が極めて多く、全学通年では 23.8%の学生がシラバスを読んでいなかった（表VI-3）。シラバスを読んでいないという学生を除いた集計では、通年全学で平均点は 4.36 となり、ほとんどの授業が計画通りに展開されていることが示された。この設問については、学部間で評価の違いはほとんどなかった。

学部毎に冊子としたシラバス（2011 授業概要/各学部）を前学生に配布しており、学生が授業の予習、復習するためには、シラバスを理解し、授業毎に確認することが望ましい。しかし、冊子は持ち運びに不便であるため、タブレット端末などからも確認できるようにシラバスの WEB 化を求めたい。

表VI-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問3】計画性 授業はシラバス通りに行われて いますか？	行われている	5	2902	754	251	386	337	831	134	209	—
	ほぼ行われている	4	2035	464	182	307	305	504	123	150	—
	どちらとも言えない	3	653	142	59	113	89	133	52	65	—
	やや異なっている	2	72	21	2	11	17	14	5	2	—
	全く異なっている	1	47	13	6	7	6	11	1	3	—
	シラバスを読んでいない	0	1701	227	113	200	175	814	85	87	—
	平均点		4.34	4.38	4.34	4.28	4.26	4.43	4.22	4.31	—

表VI-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問3】計画性 授業はシラバス通りに行われてい ますか？	行われている	5	1515	260	140	86	360	518	—	116	35
	ほぼ行われている	4	1059	147	129	44	275	330	—	109	25
	どちらとも言えない	3	262	29	33	14	58	69	—	46	13
	やや異なっている	2	33	2	6	0	6	5	—	11	3
	全く異なっている	1	13	5	2	1	1	1	—	2	1
	シラバスを読んでいない	0	987	69	76	28	162	568	—	67	17
	平均点		4.40	4.48	4.29	4.48	4.41	4.47	—	4.15	4.17

表VI-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問3】計画性 授業はシラバス通りに行われてい ますか？	行われている	5	4417	1014	391	472	697	1349	134	325	35
	ほぼ行われている	4	3094	611	311	351	580	834	123	259	25
	どちらとも言えない	3	915	171	92	127	147	202	52	111	13
	やや異なっている	2	105	23	8	11	23	19	5	13	3
	全く異なっている	1	60	18	8	8	7	12	1	5	1
	シラバスを読んでいない	0	2688	296	189	228	337	1382	85	154	17
	平均点		4.36	4.40	4.32	4.31	4.33	4.44	4.22	4.24	4.17

④ 授業の開始時刻と終了時刻について

授業の開始時刻と終了時刻が守られているのか？との設問では、全学では前期、後期ともに4.5以上に評価された。ほぼすべての学部でも高い評価であったことから、時間が守られていることが示された。しかし、時間を守っていないという評価も一部には存在する。

表Ⅶ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問4】時間 教員は、授業の始まる時刻と終る時刻を守っていますか？	守っている	5	4846	1150	416	685	605	1496	195	299	—
	ほぼ守っている	4	1972	370	151	256	255	637	140	163	—
	どちらとも言えない	3	345	63	21	64	46	89	37	25	—
	やや守っていない	2	165	19	17	9	17	53	23	27	—
	守っていない	1	83	20	7	8	6	31	5	6	—
	平均点		4.53	4.61	4.56	4.57	4.55	4.52	4.24	4.39	—

表Ⅶ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問4】時間 教員は、授業の始まる時刻と終る時刻を守っていますか？	守っている	5	2523	345	237	126	586	980	—	216	33
	ほぼ守っている	4	1086	144	124	42	224	425	—	101	26
	どちらとも言えない	3	185	20	13	4	42	60	—	29	17
	やや守っていない	2	40	4	9	1	5	14	—	2	5
	守っていない	1	35	1	3	1	4	11	—	2	13
	平均点		4.56	4.61	4.51	4.67	4.61	4.58	—	4.51	3.65

表Ⅶ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問4】時間 教員は、授業の始まる時刻と終る時刻を守っていますか？	守っている	5	7369	1495	653	811	1191	2476	195	515	33
	ほぼ守っている	4	3058	514	275	298	479	1062	140	264	26
	どちらとも言えない	3	530	83	34	68	88	149	37	54	17
	やや守っていない	2	205	23	26	10	22	67	23	29	5
	守っていない	1	118	21	10	9	10	42	5	8	13
	平均点		4.54	4.61	4.54	4.58	4.57	4.54	4.24	4.44	3.65

⑤ 講義内容を理解しやすくする教員の工夫について

講義内容を理解し易く工夫をしているか？という設問で調査した。全学では前期が 3.99（表Ⅷ-1）、後期が 4.16（表Ⅷ-2）、通年では 4.05（表Ⅷ-3）と評価され、今回のアンケートの中では比較的低い評価であった。学部間の比較では、経済学部、人間文化学部がわずかながら全学平均より高く評価される一方で、理系学部では低くなる傾向が見られた。

設問（7）の講義内容の難易度について、でも全体的な評価は低いという結果が示されていることは、この評価には関係があると考えられる。難しい内容を平易に教えることが教育力であり、教員に研鑽努力が求められている。

表Ⅷ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 5】講義の工夫 教員は、講義内容を理解しやすくする工夫をしていると思いますか？	思う	5	2994	685	322	379	393	865	140	210	—
	やや思う	4	2275	498	167	298	269	778	111	154	—
	どちらとも言えない	3	1415	298	84	229	166	442	88	108	—
	あまり思わない	2	519	103	27	79	64	162	43	41	—
	全く思わない	1	197	36	10	37	35	54	18	7	—
	平均点		3.99	4.05	4.25	3.88	3.99	3.97	3.78	4.00	—

表Ⅷ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 5】講義の工夫 教員は、講義内容を理解しやすくする工夫をしていると思いますか？	思う	5	1700	247	172	76	383	659	—	115	48
	やや思う	4	1295	159	121	64	266	535	—	118	32
	どちらとも言えない	3	676	76	73	28	164	238	—	88	9
	あまり思わない	2	156	23	14	6	43	42	—	26	2
	全く思わない	1	37	8	3	0	6	14	—	4	2
	平均点		4.16	4.20	4.16	4.21	4.13	4.20	—	3.89	4.31

表Ⅷ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 5】講義の工夫 教員は、講義内容を理解しやすくする工夫をしていると思いますか？	思う	5	4694	932	494	455	776	1524	140	325	48
	やや思う	4	3570	657	288	362	535	1313	111	272	32
	どちらとも言えない	3	2091	374	157	257	330	680	88	196	9
	あまり思わない	2	675	126	41	85	107	204	43	67	2
	全く思わない	1	234	44	13	37	41	68	18	11	2
	平均点		4.05	4.08	4.22	3.93	4.06	4.06	3.78	3.96	4.31

⑥ 質問に対する教員の誠意について

学生の質問に対する教員の姿勢について、誠意ある対応とう表現で設問した。講義内容を理解し易く工夫をしているか？という設問で調査した。全学では前期が 4.24（表Ⅸ-1）、後期が 4.30（表Ⅸ-2）、通年では 4.26（表Ⅸ-3）と評価された。この評価について、教員の中から、質問に来る学生はほとんどいない状況であり、回答結果に疑問を持つという意見が多く出された。設問（14）では学生自身の質問への積極性を訪ねているが、全学平均で 2.60 という低い結果が示されており、設問の仕方に改善が必要であることが示唆された。次回の実施では「質問したことがない」という選択肢を増やし、質問経験のある回答者の回答を参考にする必要がある。

表Ⅸ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 6】質問への誠意 教員は、学生の質問に誠意をもって 答えていますか？	誠意をもって答える	5	3703	908	359	527	445	1044	188	232	—
	ほぼ誠意をもって答える	4	2106	444	171	285	252	696	115	143	—
	どちらとも言えない	3	1400	229	71	176	196	516	78	134	—
	やや誠意が感じられない	2	106	18	5	23	17	27	13	3	—
	誠意が感じられない	1	99	26	5	14	18	24	5	7	—
	平均点		4.24	4.35	4.43	4.26	4.17	4.17	4.17	4.14	—

表Ⅸ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 6】質問への誠意 教員は、学生の質問に誠意をもって 答えていますか？	誠意をもって答える	5	1974	294	207	98	465	707	—	139	64
	ほぼ誠意をもって答える	4	1147	144	117	56	258	455	—	97	20
	どちらとも言えない	3	679	68	51	18	130	298	—	106	8
	やや誠意が感じられない	2	33	2	7	0	6	14	—	4	0
	誠意が感じられない	1	27	6	0	2	3	9	—	5	2
	平均点		4.30	4.40	4.37	4.43	4.36	4.24	—	4.03	4.53

表Ⅸ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 6】質問への誠意 教員は、学生の質問に誠意をもって 答えていますか？	誠意をもって答える	5	5677	1202	566	625	910	1751	188	371	64
	ほぼ誠意をもって答える	4	3253	588	288	341	510	1151	115	240	20
	どちらとも言えない	3	2079	297	122	194	326	814	78	240	8
	やや誠意が感じられない	2	139	20	12	23	23	41	13	7	0
	誠意が感じられない	1	126	32	5	16	21	33	5	12	2
	平均点		4.26	4.36	4.41	4.28	4.27	4.20	4.17	4.09	4.53

⑦ 講義内容の難易度について

講義内容の難易度の設定については、他の設問に対する回答と比べて低く、全学では前期が3.88（表X-1）、後期が4.00（表X-2）、通年では4.00（表X-3）と評価された。平易な内容に移行するのは容易であるが、講義内容をある程度のレベルに維持することも必要であり、講義内容の難易度の調整は難しい。このアンケート調査の評価結果が教員評価の一つの指標となっておりことから、難しい科目を担当すると教員自身の評価が低くなる傾向なることに違和感を感じる教員もいる。しかしながら、上述のように、難しいことをやさしく教えることが教員の教育力であることを踏まえて、難易度の高い授業科目を担当する教員にこそ努力を求めたい。

表X-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問7】難易の適切性 この科目の難易度はやりがいや手 応えを感じるものですか？	大いに感じる	5	2200	562	207	285	272	626	102	146	—
	やや感じる	4	3062	636	257	429	369	1036	143	192	—
	どちらとも言えない	3	1493	294	99	234	198	443	102	123	—
	あまり感じない	2	391	74	34	46	51	115	32	39	—
	全く感じない	1	266	57	15	29	39	85	21	20	—
	平均点		3.88	3.97	3.99	3.87	3.84	3.87	3.68	3.78	—

表X-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問7】難易の適切性 この科目の難易度はやりがいや手 応えを感じるものですか？	大いに感じる	5	1207	212	104	56	227	486	—	83	39
	やや感じる	4	1747	197	187	90	413	680	—	143	37
	どちらとも言えない	3	689	83	67	20	164	255	—	89	11
	あまり感じない	2	160	12	19	7	46	52	—	22	2
	全く感じない	1	69	10	9	1	12	18	—	14	5
	平均点		4.00	4.15	3.93	4.11	3.92	4.05	—	3.74	4.10

表X-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問7】難易の適切性 この科目の難易度はやりがいや手 応えを感じるものですか？	大いに感じる	5	3407	774	311	341	499	1112	102	229	39
	やや感じる	4	4809	833	444	519	782	1716	143	335	37
	どちらとも言えない	3	2182	377	166	254	362	698	102	212	11
	あまり感じない	2	551	86	53	53	97	167	32	61	2
	全く感じない	1	335	67	24	30	51	103	21	34	5
	平均点		3.92	4.01	3.97	3.91	3.88	3.94	3.68	3.76	4.10

⑧ この科目の授業内容や実施方法への満足度について

アンケート実施科目の講義内容や授業方法に対する満足度について設問した。満足度は全学では前期が 3.88（表 X I -1）、後期が 3.94（表 X I -2）、通年では 3.87（表 X I -3）と評価され、学生の授業に対する満足度は、中間評価値の 3.00 より高いが、他の設問と比べると著しく低い。これは、設問（7）講義内容の難易度の結果と関連させて検討する必要があるだろう。内容を理解できた学生はおそらく高い評価をし、十分な理解を深められなかった学生は低い評価をしていると仮定すると、本学の授業内容について全般的に見直しが必要であるかもしれない。本学ではカリキュラム内容をカリキュラム・マップに示すことで、目標達成に向けた学修の道筋を学生に示しているが、これも見直しが迫られているかもしれない。

表 X I -1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 8】講義の満足度 この科目の授業の内容や実施方法 に対する総合的なあなたの満足度 を 5段階で示してください。	満足	5	2234	542	244	280	276	648	93	151	—
	ほぼ満足	4	2621	538	218	358	342	883	127	155	—
	どちらとも言えない	3	1765	385	108	272	190	536	118	156	—
	やや不満である	2	511	102	27	73	75	155	34	45	—
	不満である	1	243	45	11	31	43	78	25	10	—
	平均点		3.83	3.89	4.08	3.77	3.79	3.81	3.58	3.76	—

表 X I -2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 8】講義の満足度 この科目の授業の内容や実施方法 に対する総合的なあなたの満足度 を 5段階で示してください。	満足	5	1178	201	110	63	231	464	—	78	31
	ほぼ満足	4	1555	174	177	70	366	603	—	125	40
	どちらとも言えない	3	890	102	70	32	215	347	—	106	18
	やや不満である	2	169	24	17	8	36	53	—	29	2
	不満である	1	59	11	5	1	13	16	—	10	3
	平均点		3.94	4.04	3.98	4.07	3.89	3.98	—	3.67	4.00

表 X I -3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生による授業評価）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 8】講義の満足度 この科目の授業の内容や実施方法 に対する総合的なあなたの満足度 を 5段階で示してください。	満足	5	3412	743	354	343	507	1112	93	229	31
	ほぼ満足	4	4176	712	395	428	708	1486	127	280	40
	どちらとも言えない	3	2655	487	178	304	405	883	118	262	18
	やや不満である	2	680	126	44	81	111	208	34	74	2
	不満である	1	302	56	16	32	56	94	25	20	3
	平均点		3.87	3.92	4.04	3.82	3.84	3.88	3.58	3.72	4.00

(3) 調査結果の内容（学生の自己点検）

① 授業に対する予習、復習などの自己学習について

学生が授業に臨む準備（予習と復習）について設問した。回答結果は全学では前期が2.50（表XⅡ-1）、後期が2.44（表XⅡ-2）、通年では2.48（表XⅡ-3）であり、中間評価値の3.00にも及ばない低い評価であった。全学通年で、予習、復習を「全く行わない」という回答者は29.0%、これに「あまり行わない」を加えると53.4%となり、約半分の学生が授業に対する準備ができていないことが示された。授業の単位は、大学での授業（2時間）に対して予習2時間、復習2時間を必要として設定されており、深刻な状況である。上述の授業に対する満足度の低さは、難易度の設定だけでなく、自己学習不足によることが大きな原因と考えられる。

ここで、求められるものは学修意欲を喚起する動機付けであろう。また、主体的に学修する習慣付けも必要である。そのために、アクティブ・ラーニングは効果的な手法の一つであり、本学の授業へのアクティブ・ラーニングの積極的な導入が必要である。

表XⅡ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問9】授業の準備 この授業に対して、予習、復習などの自己学習を行っていますか？	必ず行う	5	727	224	49	106	36	208	39	65	—
	ほぼ行う	4	852	231	68	97	85	282	52	37	—
	ときどき行う	3	1955	403	111	284	294	649	125	89	—
	あまり行わない	2	1726	356	168	254	249	503	75	121	—
	全く行わない	1	2156	408	217	284	265	665	109	208	—
	平均点		2.50	2.70	2.29	2.50	2.33	2.51	2.59	2.29	—

表XⅡ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問9】授業の準備 この授業に対して、予習、復習などの自己学習を行っていますか？	必ず行う	5	332	82	31	9	35	138	—	25	12
	ほぼ行う	4	412	67	38	21	58	185	—	26	17
	ときどき行う	3	986	128	65	57	245	395	—	83	13
	あまり行わない	2	1024	126	106	48	289	360	—	79	16
	全く行わない	1	1117	111	146	39	235	412	—	138	36
	平均点		2.44	2.77	2.23	2.50	2.27	2.51	—	2.21	2.50

表XⅡ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問9】授業の準備 この授業に対して、予習、復習などの自己学習を行っていますか？	必ず行う	5	1059	306	80	115	71	346	39	90	12
	ほぼ行う	4	1264	298	106	118	143	467	52	63	17
	ときどき行う	3	2941	531	176	341	539	1044	125	172	13
	あまり行わない	2	2750	482	274	302	538	863	75	200	16
	全く行わない	1	3273	519	363	323	500	1077	109	346	36
	平均点		2.48	2.71	2.27	2.50	2.30	2.51	2.59	2.25	2.50

② 授業に対する集中度について

学生が授業に臨む態度として、授業中の私語や居眠りなどについて設問した。学部、学科等の違いはあまり無く、回答結果は全学では前期が 3.26 (表 XⅢ-1)、後期が 3.30 (表 XⅢ-2)、通年では 3.27 (表 XⅢ-3) であり、かろうじて中間評価値の 3.00 を超える程度であった。この結果から、本学学生の授業への集中度は平均的と言えるが、決して満足できる評価ではない。

ここで、求められるものは、上述したように、学修意欲を喚起する動機付けと主体的に学修の習慣付けである。そのために、アクティブ・ラーニングは効果的な手法の一つであり、本学の授業へのアクティブ・ラーニングの積極的な導入が必要である。

表 XⅢ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生の自己点検)

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 10】集中力 授業中に私語、居眠り、別のことを 考えること等がありますか？	全くない	5	1361	341	98	168	144	414	67	129	—
	ほとんどない	4	2221	504	184	309	283	695	107	139	—
	どちらとも言えない	3	1406	321	124	186	179	416	93	87	—
	しばしばある	2	1831	339	159	285	256	573	96	123	—
	毎回ある	1	596	118	48	76	67	209	37	41	—
	平均点		3.26	3.38	3.20	3.20	3.19	3.23	3.18	3.37	—

表 XⅢ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生の自己点検)

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 10】集中力 授業中に私語、居眠り、別のことを 考えること等がありますか？	全くない	5	681	110	45	38	130	293	—	49	16
	ほとんどない	4	1254	170	110	64	273	502	—	95	40
	どちらとも言えない	3	770	83	86	39	186	284	—	78	14
	しばしばある	2	885	121	112	24	222	295	—	91	20
	毎回ある	1	280	30	33	9	51	116	—	37	4
	平均点		3.30	3.41	3.06	3.56	3.24	3.38	—	3.08	3.47

表 XⅢ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生の自己点検)

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 10】集中力 授業中に私語、居眠り、別のことを 考えること等がありますか？	全くない	5	2042	451	143	206	274	707	67	178	16
	ほとんどない	4	3475	674	294	373	556	1197	107	234	40
	どちらとも言えない	3	2176	404	210	225	365	700	93	165	14
	しばしばある	2	2716	460	271	309	478	868	96	214	20
	毎回ある	1	876	148	81	85	118	325	37	78	4
	平均点		3.27	3.38	3.15	3.26	3.22	3.29	3.18	3.25	3.47

③ 授業への出席状況について

学生の授業への出席状況を設問した。回答結果は全学では前期が 4.53（表XⅣ-1）、後期が 4.51（表XⅣ-2）、通年では 4.52（表XⅣ-3）であり、授業の出席態度は極めて良好である。これは、本学が全学的にすべての授業で厳重に実施している出席調査の成果であろう。学修の第一歩は授業への出席から始まるのであり、その点において出席調査は十分に大きな役割を果たしている。本学では、授業の3分の1を超えて欠席した場合には定期試験の受験を認めていない。実質的には、これらの制度が学生を授業への出席を促している原動力であろう。しかしながら、これは本来の姿ではなく、学生は学修のために授業に出席すべきである。授業内容に工夫を凝らし、学生が学びたいことを快適に学べる授業にすることで、学生の出席状況をさらに高める努力が必要である。

表XⅣ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問11】出席状況 授業には特別な事情を除き、出席していますか？	全出席	5	4819	799	337	604	597	1885	264	333	—
	ほぼ出席	4	1915	620	205	276	231	339	105	139	—
	ときどき欠席する	3	510	156	49	110	82	57	22	34	—
	欠席が多い	2	125	35	15	25	14	20	8	8	—
	欠席が大変多い	1	45	12	5	9	5	7	1	6	—
	平均点		4.53	4.33	4.40	4.41	4.51	4.77	4.56	4.51	—

表XⅣ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問11】出席状況 授業には特別な事情を除き、出席していますか？	全出席	5	2467	226	170	98	497	1201	—	187	88
	ほぼ出席	4	1021	197	154	48	270	228	—	118	6
	ときどき欠席する	3	295	70	51	24	72	44	—	34	0
	欠席が多い	2	73	16	9	3	20	16	—	9	0
	欠席が大変多い	1	14	5	2	1	3	2	—	1	0
	平均点		4.51	4.21	4.25	4.37	4.44	4.75	—	4.38	4.94

表XⅣ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問11】出席状況 授業には特別な事情を除き、出席していますか？	全出席	5	7286	1025	507	702	1094	3086	264	520	88
	ほぼ出席	4	2936	817	359	324	501	567	105	257	6
	ときどき欠席する	3	805	226	100	134	154	101	22	68	0
	欠席が多い	2	198	51	24	28	34	36	8	17	0
	欠席が大変多い	1	59	17	7	10	8	9	1	7	0
	平均点		4.52	4.30	4.34	4.40	4.47	4.76	4.56	4.46	4.94

④ 授業の受講による知識の深まりについて

授業の受講による知識の深まりについての設問では、全学では前期、及び後期がそれぞれ 3.96（表 X V-1）、及び 4.10（表 X V-2）で、一定レベルの知識の深まりを感じていることが示された。上述した、授業への集中、及び予習と復習を確実に行うことにより、この評価はさらに高まることが期待される。

表 X V-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 12】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識 は深まっていますか？	大いに深まっている	5	2013	489	210	247	250	603	81	133	—
	やや深まっている	4	3804	781	298	510	509	1254	196	256	—
	どちらとも言えない	3	1061	229	69	185	109	298	85	86	—
	あまり深まっていない	2	349	85	24	52	41	97	27	23	—
	全く深まっていない	1	182	40	10	28	20	54	10	20	—
	平均点		3.96	3.98	4.10	3.88	4.00	3.98	3.78	3.89	—

表 X V-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 12】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識 は深まっていますか？	大いに深まっている	5	1198	181	129	46	249	471	—	79	43
	やや深まっている	4	2063	244	204	115	472	790	—	196	42
	どちらとも言えない	3	455	54	37	10	113	185	—	51	5
	あまり深まっていない	2	99	24	12	1	22	24	—	14	2
	全く深まっていない	1	53	11	4	2	6	18	—	11	1
	平均点		4.10	4.09	4.15	4.16	4.09	4.12	—	3.91	4.33

表 X V-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 12】知識の深まり この科目を受講して、あなたの知識 は深まっていますか？	大いに深まっている	5	3211	670	339	293	499	1074	81	212	43
	やや深まっている	4	5867	1025	502	625	981	2044	196	452	42
	どちらとも言えない	3	1516	283	106	195	222	483	85	137	5
	あまり深まっていない	2	448	109	36	53	63	121	27	37	2
	全く深まっていない	1	235	51	14	30	26	72	10	31	1
	平均点		4.01	4.01	4.12	3.92	4.04	4.04	3.78	3.89	4.33

⑤ 受講時の工夫について

受講時の学生自身の工夫について設問した。回答結果は全学では前期が 3.39（表XVI-1）、後期が 3.45（表XVI-2）、通年では 3.41（表XVI-3）であり、中間評価値をやや上回る程度であった。係数 3 を与える選択肢は受講時の工夫を「行おうとしている」という回答であり、積極的に受講している学生は少なく、受動的に受講している学生が多い傾向にあると推定された。授業において、教員の努力は重要であるが学生自身の努力も大切である。本学の学生は受講時の工夫を行おうとしており、これを促すようなプログラムが必要である。

表XVI-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 13】受講の工夫 あなたは、ノートの取り方、講話の 聴き方など、講義内容を理解しやす くする工夫や配慮を自発的に行っ ていますか？	積極的に行っている	5	1634	429	134	178	164	549	65	115	—
	かなり行っている	4	1565	383	136	186	221	444	87	108	—
	行おうとしている	3	2606	495	206	373	353	858	150	171	—
	あまり意識していない	2	1256	231	101	225	158	364	75	102	—
	全く意識していない	1	353	85	35	62	33	92	23	23	—
	平均点		3.39	3.52	3.38	3.19	3.35	3.43	3.24	3.37	—

表XVI-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 13】受講の工夫 あなたは、ノートの取り方、講話の 聴き方など、講義内容を理解しやす くする工夫や配慮を自発的に行っ ていますか？	積極的に行っている	5	905	147	72	30	184	392	—	59	21
	かなり行っている	4	863	120	102	45	200	283	—	87	26
	行おうとしている	3	1345	146	117	58	320	559	—	113	32
	あまり意識していない	2	564	77	70	32	135	172	—	67	11
	全く意識していない	1	191	22	24	9	22	85	—	25	4
	平均点		3.45	3.57	3.33	3.32	3.45	3.49	—	3.25	3.52

表XVI-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 13】受講の工夫 あなたは、ノートの取り方、講話の 聴き方など、講義内容を理解しやす くする工夫や配慮を自発的に行っ ていますか？	積極的に行っている	5	2539	576	206	208	348	941	65	174	21
	かなり行っている	4	2428	503	238	231	421	727	87	195	26
	行おうとしている	3	3951	641	323	431	673	1417	150	284	32
	あまり意識していない	2	1820	308	171	257	293	536	75	169	11
	全く意識していない	1	544	107	59	71	55	177	23	48	4
	平均点		3.41	3.53	3.36	3.21	3.40	3.45	3.24	3.32	3.52

⑥ 質問への積極性について

学生が教員に質問する姿勢は、疑問をそのままに残すのではなく、疑問の解消に努力する積極的な学修態度として評価できる。回答結果は通年全学で 2.67 (表 X VII-3) と極めて低結果であった。シラバスにはオフィスアワーを明示して、学生が質問しやすいように時間を設けているが、質問に来る学生は少ないのが現状である。内容を見ると、「質問したいことがあまりない」と回答した学生が最も割合が高く、全学で 37.5%、「質問すべきことが見つからない」という回答を合わせると 53.1%に上った。この結果は、授業において自分の理解できていない部分への気づきが十分ではないことを示唆している。授業や実験・実習、演習にディスカッションを組み入れるなど、問題発見能力を養う試みが求められる。

表 X VII-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生の自己点検)

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 14】質問への積極性 授業内容について、質問したいと思 うことはありますか？ また、実際に 質問しますか？	しばしば質問する	5	806	261	74	128	47	203	31	62	—
	ときどき質問する	4	1228	289	125	230	127	342	50	65	—
	質問はあるが、ほとんど質問していない	3	1552	322	107	215	224	522	90	72	—
	質問したいことがあまりない	2	2695	485	223	326	396	869	166	230	—
	質問すべきことがみつからない	1	1130	266	81	124	135	371	63	90	—
	平均点		2.71	2.87	2.82	2.91	2.52	2.63	2.55	2.57	—

表 X VII-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生の自己点検)

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 14】質問への積極性 授業内容について、質問したいと思 うことはありますか？ また、実際に 質問しますか？	しばしば質問する	5	296	69	26	15	36	113	—	26	11
	ときどき質問する	4	588	107	68	34	114	182	—	53	30
	質問はあるが、ほとんど質問していない	3	843	114	93	34	149	374	—	59	20
	質問したいことがあまりない	2	1540	161	154	71	436	550	—	141	27
	質問すべきことがみつからない	1	601	63	45	20	126	270	—	72	5
	平均点		2.60	2.92	2.68	2.73	2.42	2.54	—	2.49	3.16

表 X VII-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果 (学生の自己点検)

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 14】質問への積極性 授業内容について、質問したいと思 うことはありますか？ また、実際に 質問しますか？	しばしば質問する	5	1102	330	100	143	83	316	31	88	11
	ときどき質問する	4	1816	396	193	264	241	524	50	118	30
	質問はあるが、ほとんど質問していない	3	2395	436	200	249	373	896	90	131	20
	質問したいことがあまりない	2	4235	646	377	397	832	1419	166	371	27
	質問すべきことがみつからない	1	1731	329	126	144	261	641	63	162	5
	平均点		2.67	2.88	2.76	2.89	2.47	2.59	2.55	2.54	3.16

⑦ 学修への意欲の高まりについて

学生が授業の受講を契機として、その授業の関連分野の学修に発展を促すことは、授業の究極の目的である。教員が授業で教えられることには限界があり、学生が学ぶことには限界がない。授業は学修の入り口であり、主体的学修への誘いである。この設問では学修への意欲の高まりの自覚について点検するために、「講義内容についてさらに詳しく学びたいと思うか」と設問した。最も多い回答は「やや思う」で全体の 42.1%、「大いに思う」を加えると 63.6%であった。一方で、「あまり思わない」、「全く思わない」という回答も多く、全学通年で 3.69（表ⅩⅧ-3）であった。前・後期、学部間に大きな違いは認められなかった。この結果は、本学の授業で学修意欲がある程度高められている学生が多く存在することを示している。

表ⅩⅧ-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 15】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	1590	440	154	210	187	417	72	110	—
	やや思う	4	3016	647	243	409	413	1033	132	139	—
	どちらとも言えない	3	1838	334	153	268	210	594	127	152	—
	あまり思わない	2	595	120	45	87	70	166	41	66	—
	全く思わない	1	375	83	17	50	48	97	28	52	—
	平均点		3.65	3.76	3.77	3.63	3.67	3.65	3.45	3.36	—

表ⅩⅧ-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 15】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	831	146	71	35	158	349	—	48	24
	やや思う	4	1734	225	189	96	374	672	—	136	42
	どちらとも言えない	3	936	95	91	31	244	353	—	102	20
	あまり思わない	2	245	28	23	9	62	81	—	39	3
	全く思わない	1	124	20	11	3	23	36	—	26	5
	平均点		3.75	3.87	3.74	3.87	3.68	3.82	—	3.40	3.82

表ⅩⅧ-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 15】意欲の高まり この科目を受講して、講義内容を更に詳しく学びたいと思いますか？	大いに思う	5	2421	586	225	245	345	766	72	158	24
	やや思う	4	4750	872	432	505	787	1705	132	275	42
	どちらとも言えない	3	2774	429	244	299	454	947	127	254	20
	あまり思わない	2	840	148	68	96	132	247	41	105	3
	全く思わない	1	499	103	28	53	71	133	28	78	5
	平均点		3.69	3.79	3.76	3.66	3.67	3.72	3.45	3.38	3.82

⑧ 学修の成果について

学生が授業の受講による学修成果をどのように感じているのかを設問した。前・後期、学部間に大きな違いは認められず、通年全学で、3.82 であった（表X IX-3）。最も多い回答は「少し成果は上がっている」が48.6%であった。「十分に成果は上がっている」を加えると70.6%であった。この結果から、半数以上の学生が、授業を受講して成果が上がっていると感じていることが示された。

表X IX-1 平成23年度 前期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 16】学習の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	1618	420	153	204	186	483	61	111	—
	少し成果はあがっている	4	3491	738	303	455	445	1165	174	211	—
	どちらとも言えない	3	1613	316	122	258	211	445	114	147	—
	あまり成果はあがっていない	2	471	103	24	74	58	142	36	34	—
	全く成果はあがっていない	1	223	47	10	33	29	73	14	17	—
	平均点		3.78	3.85	3.92	3.71	3.75	3.80	3.58	3.70	—

表X IX-2 平成23年度 後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 16】学習の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	857	155	79	43	146	349	—	52	33
	少し成果はあがっている	4	1998	245	213	101	446	778	—	172	43
	どちらとも言えない	3	800	79	75	21	213	306	—	91	15
	あまり成果はあがっていない	2	149	20	9	5	46	45	—	22	2
	全く成果はあがっていない	1	64	15	9	4	10	11	—	14	1
	平均点		3.89	3.98	3.89	4.00	3.78	3.95	—	3.64	4.12

表X IX-3 平成23年度 前期・後期 学生による授業評価アンケート 集計結果（学生の自己点検）

学 部	学 部	係数	全学	経済	人間文化	工	生命工	薬	大学教育 センター	共通教育 (非常勤講師)	集中講義
【質問 16】学習の成果 この科目であなたが得た成果を5段階で自己評価してください。	十分に成果はあがっている	5	2475	575	232	247	332	832	61	163	33
	少し成果はあがっている	4	5489	983	516	556	891	1943	174	383	43
	どちらとも言えない	3	2413	395	197	279	424	751	114	238	15
	あまり成果はあがっていない	2	620	123	33	79	104	187	36	56	2
	全く成果はあがっていない	1	287	62	19	37	39	84	14	31	1
	平均点		3.82	3.88	3.91	3.75	3.77	3.86	3.58	3.68	4.12

(4) 調査結果のまとめ

「授業評価アンケート」について教員の授業評価に関する7項目は、教員の授業技術的設問と講義内容の妥当性を問う設問で構成されている。7項目の平均は4.16であり、中間評価値を大きく上回っており、本学教員の板書、話法、計画性等の授業技術は十分に高いレベルを有していると判断できる。しかし、総合的満足度を問う設問8では3.87と、中間評価値をやや上回るものの、授業技術等に較べて低い値であった。この原因は、「学生の自己点検」の結果に表れている。

授業に臨む学生の受講態度や学習成果を問う検設問9～設問16の「学生の自己点検」集計結果については、標準値3.5を下回る3.46であった。学生自身が自戒を込めて真摯に回答した結果であると判断される。この結果から本学学生の平均的学生像が浮かび上がる。すなわち、真面目に授業に出席しているが、予習・復習をあまりしていないため、十分に内容を理解できていない。授業を受講して授業内容に関心をもったが、それをさらに自己学修するほどには至っていない。と推定することができる。

これを改善するためには、学生が学習の必要性を実感し、自ら学ぶ態度を身につける必要がある。この課題を達成することは至難の業であるが、PBLやSGD等の新しい教育方法を取り入れることも有効策の一つと考えられる。また、補習教育などの充実により基礎学力を向上させることで、授業内容の理解を高めることも重要である。今回のアンケートに対する各教員から提出された報告書に記されている提案が参考になるかもしれない。

4. アンケート結果に対する教員の報告書

「学生による授業評価アンケート」調査実施後、調査結果をどのように今後の授業展開に活用するのかを確認するために、授業担当の各教員に報告書（書式は p. 4）の提出を求めた。授業アンケート実施報告書を本報告書の別冊とする。同報告書では教員から様々な有用な提案や問題が提起されている。その中から提案、意見の抜粋を以下に示す。これらの報告書は今後のアンケート調査内容の改善に役立てると共に、授業改善にも大いに役立つ資料となるであろう。

平成23年度授業評価アンケートに対する報告書に示された意見

◇アンケートの質問項目に対する意見

学部	学 科	コメントの抜粋
経済	国際経済	質問 6 の質問への誠意が最高点であるが、それほど質問が出ているとも思えない。
生命	生物工	「質問への誠意」が高得点になっているが、実際に質問に来た学生は数えるほどもない。
薬	薬	質問14で、質問が学生の積極性を本当に測っているのか疑問に思う。
薬	薬	係数の妥当性に疑問がある。例えば、十分な準備をした講義内容で学生が内容をよくできた場合と、講義にまとまりがなく、学生が講義を理解できず質問をしたいと思う場合では、後者のほうが質問への積極性が高いとみなされるのでしょうか。
薬	薬	ほとんど質問を受けていないのに質問 6 が4.28であり、アンケートの質問方式を工夫する必要がある。
生命	生物工	学生にとって講義の時間を守るということは早く終わるかどうかであると思われる。
工	情報工	教員の熱意を聞く項目を今回の授業評価から省かれた理由は何か。
薬	薬	学生の自己評価を質問した意味が分からない。

◇アンケート結果から得られた学生の傾向

学部	学 科	コメントの抜粋
薬	薬	苦勞せずにテストをクリアできる講義が高い評価になっていないか？真の教育とは何なのかについて常に検証すべきであろう。
生命	生物工	講義の評価としてはむしろ自己点検結果をみるべきなのかもしれない。
生命	生物工	学生が現状では不十分であることを認識していると判断できる
生命	生物工	学生は成果の兆しを感じている。ただ、成果を断定できない何かがあるのだろう。
工	電子ロボット	学生の基礎学力向上、すなわち数学や物理学、さらに国語や英語を十分に習得させることが必要。
工	機械システム	授業が理解しにくくなると、内容への関心がなくなり、さらに学習意欲が低下していく言うスパイラルが生じている。
工	機械システム	受講生の自らの学習に対する評価には厳しいものがあるが、この低い評価の半分は、学生の勉学に対する熱意の不足であり、他の半分は科目そのものにあると言える。
経済	税務会計	理解しようとしにくい学生への対応を考慮しなければならない。
工	電子ロボット	自ら学ぶ力をつける必要がある。
経済	税務会計	できる人とできない人が両極分化している。できないひとへの対策が必要である。
経済	税務会計	理解しようとしにくい学生への対応を考慮しなければならない。
経済	税務会計	できる人とできない人が両極分化している。できないひとへの対策が必要である。
生命	生物工	十分な成果が上がっていないと回答している 1 割弱の学生に対する対応を考える必要がある。
工	情報工	学生が受動的になっている。より学生が能動的になる工夫をしたい。
工	情報工	福山大学の全教員が熱意をもって教えると学生はしんどいと感じるのではないかな。

◇授業の問題点と改善に向けての方策

学部	学 科	コメントの抜粋
経済	国際経済	学生参加型授業を行うことで質問への積極性が高まるだろう。
生命	海洋生物	ディスカッションを取り入れた授業展開を図ろうと思う。
工	機械システム	学生が学習における到達目標の達成感を味わうことができるような授業のあり方を工夫する。
工	機械システム	学生参加型やグループディスカッション型の授業導入を検討している。
生命	海洋生物	授業用のテキストを自作しようと思う。
工	情報工	授業時間の長さの適正度や週 1 コマを15回繰り返す現行の授業方式について検討すべきではないか（例えば授業時間を50分にするとか、1ヶ月などに集中授業を行う）。
経済	国際経済	パワーポイントはビジュアル的で便利な反面、心理的に飽きる状態に陥り易い傾向もある。
生命	生物工	講義と関連する学生実験を開講しており、学習成果としては概ね良い成果が得られている。

◇個々の授業科目の取り扱いについての改善の要望

学部	学 科	コメントの抜粋
薬	薬	英語を学ぶことと試験を区別することが安心して授業を楽しむことができる1つではないか。
生命	生物工	代謝と分子遺伝学の基礎知識を必要とする。現在の2年次前期の段階のおくの学生にとって本授業はかなり難解なようである。ある程度の基礎知識を身につけた2年次後期か3年次前期に開講するのも一案である。
経済	国際経済	日本人の受講生が減少しているのは残念。本授業の啓蒙、講義時間帯に配慮願いたい
経済	税務会計	私のように専門外の教員が担当するのではなく、この科目を専門としている教員が担当するのが学生にとってベスト。
工	電子ロボット	数学を専門とする教員による教育が望ましい。
工	機械システム	この授業が本当に必要か、という点まで遡って検討する必要がある。
経済	税務会計	税理士対策科目であるが、受講生のほとんどが単位取得目的で、税理士志願者はほんの一握りにすぎない
工	電子ロボット	学部、あるいは学科での授業内容やシラバスの点検をお願いしたい。
薬	薬	ひとり、あるいは最大でも二人程度で一貫した授業を行うのが適切ではないか。

【8】総 括 （おわりに）

本アンケートの集計結果より、本学における授業の質と教育成果、学生の就学状況を推定する結果が得られたと考えられる。今後は示唆された種々の問題の改善に向けた努力を求めたい。また、実施時に授業アンケート実施報告書の取扱い、学科単位の報告書について曖昧さを残して実施したため、提出率が低く、本報告書への掲載を割愛した。来年度以降のアンケート調査では改善を予定している。今回のアンケート調査では、本学学生の皆さんは、真摯に設問と向き合い回答していただいたことが、集計結果からも示された。貴重なデータを提供いただいた学生の皆様に感謝します。最後に本アンケート調査実施にご協力いただいた教員の皆様、関係各位に感謝します。

以上